

令和元年度徳島アイバンク事業報告

1. 啓発普及活動

- 1) 愛の光運動をさらに推進し、登録者の増加に努める。特にライオンズクラブでの啓発活動に協力・応援をお願いする。
 - ① 令和元年5月12日：藍住ライオンズクラブ結成50周年記念大会において来場者に啓発用資料パンフレット、眼球提供申込ハガキの配布を行った。(山根理事)
 - ② 令和元年10月12日～14日：第50回徳島フォトサロン展において来場者に啓発用資料パンフレット、眼球提供申込ハガキの配布を行った。(土岐理事)
 - ③ 令和元年11月24日：徳島藍ライオンズクラブ結成25周年記念大会において来場者に啓発用資料パンフレット、眼球提供申込ハガキの配布を行うとともに、ご寄附を100,000円頂いた。(山根理事)
- 2) 優良企業に対して啓発活動を行うとともに、寄付の依頼を行う。
優良企業に昨年度の事業報告・収支報告、啓発活動をするとともに徳島アイバンクへの寄付依頼を行った。
- 3) 令和元年9月29日「目の健康講座」を徳島県眼科医会と共催し、日本アイバンク協会作成の啓発DVD「ヒ・カ・リ」を上映し、宮本龍郎理事による演題「角膜移植のいろいろ」を講演した。

2. 献眼登録・斡旋・角膜移植手術の実績

- ① 令和元年度献眼登録者数 9名 (献眼登録総数 3,655名)
- ② 令和元年度献眼者数 0名 0眼
- ③ 令和元年度角膜移植数 献眼者 1眼 (香川アイバンクより)
輸入角膜 5眼
- ④ 角膜移植総数 献眼者から 164眼 (他アイバンクからの献眼移植19眼)
輸入角膜から 367眼

3. 学会・研究会への参加

宮本龍郎理事が出席した。「広域活動地区連絡会」では、①各県の待機料等についての報告があた。待機料を払っているのは島根県、広島県など少数で、ほとんどが献眼摘出医に対して報酬が3万円から6万円であった。②社会貢献自販機設置について。山口県、広島県、高知県が設置している。広島県は相当額の収入になっている。③死後採決について。1. 病院で亡くなられた場合、残っている血清に追加で感染症をオーダーするか、高野医師に死後採血を依頼する。2. ご自宅島で亡くなられた場合、心嚢液や胸水しか採取できない場合はこれをていしゅつする。

全国アイバンク連絡協議会では、1. 献眼に対するオプションの提示について。2. アイバンク活動の啓発について。3. 輸入角膜の件数の増加について。4. 広域斡旋の

際、ドナー角膜送付方法について。5. 内皮移植用の角膜系について。などの議論が行われた。

4. 学術研究の助成

国立大学法人徳島大学へ 500,000 円の眼球疾患研究助成（寄付金）を行った。

5. 役員会の開催

1) 令和元年度第1回理事会

日時：令和元年6月2日

場所：阿波観光ホテル

審議案件

- ① 平成30年度事業報告
- ② 平成30年度収支決算及び監査報告
- ③ 定時評議員会の開催日程及び報告・承認事項について
報告事項

理事の職務の執行状況について

2) 令和元年度定時評議員会

日時：令和元年6月18日

場所：山根眼科

審議事案

平成30年度事業報告及び収支決算の承認について

報告事項

令和元年度事業計画及び収支予算について

3) 令和元年度第2回理事会

日時：令和2年3月29日

場所：新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言下により郵送開催とする。

審議事項

令和2年度事業計画及び収支予算について

報告事項

理事の職務の執行状況について

新規献眼登録者数

令和元年度	9名
平成30年度	7名
平成29年度	30名
平成28年度	17名
平成27年度	9名
平成26年度	7名
平成25年度	16名
平成24年度	14名
平成23年度	4名

寄付金

令和元年度	1,545,394円
平成30年度	1,831,215円
平成29年度	1,596,336円
平成28年度	1,521,649円
平成27年度	1,683,652円
平成26年度	1,322,495円
平成25年度	1,175,962円
平成24年度	950,992円
平成23年度	979,565円
平成22年度	1,187,623円
平成21年度	759,125円
平成20年度	1,190,813円
平成19年度	1,295,758円